

京都モデル

および保健衛生部局との連携

京都大学大学院工学研究科
(株) 島津テクノリサーチ

京都モデル

学だけでは数の制限があり十分に対応できないため、民との連携により社会実装を加速し、感染拡大防止に貢献する。



訪問・カウンセリング
 ・人数規模、排水タイミング、マンホール位置等

**サンプリングデザイン
 資材等準備**

1回/週

定期モニタリング
 新型コロナウイルス
 ノロウイルス

不検出

検出

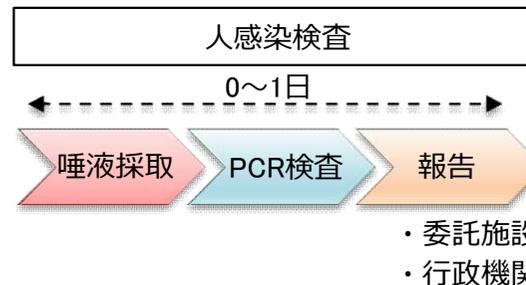
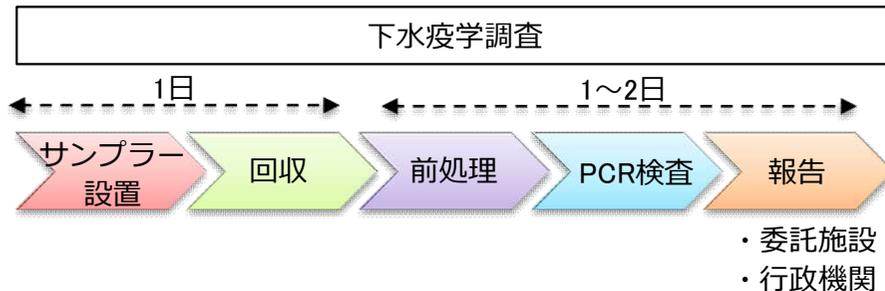
【京都モデルの特徴】

1. 下水疫学調査の活用

- ・新型コロナウイルス感染が事前把握出来る可能性
- ・感染終焉の見極めが行える可能性
- ・ノロウイルスにも対応可能
- ・個人PCR検査に比べて安価で包括的な検査が可能

2. 人感染検査の併用

- ・下水調査で検出となった場合は、当該施設関係者の人感染検査を実施し、クラスター発生防止に繋げる



* 陽性判定者は、行政検査による確定を経て、保健所の指導に従う

前処理方法 (TFマニュアル準拠)

